



# 関西支部報

http://www.jackansai.com

## やっぱり 東お多福山でしょう!!

桑田 結

関西地区で山登りと言えば、先ず六甲山でしょう。表玄関の芦屋から登れば、その途中に眺望の良い東お多福山があります。しかし、草原の利用価値が低下するとともに、本来の草原の姿は維持されずにネザサの繁茂するニセ草原になったり、森林化がすすんでいるのが現状です。その様な中、11年前に環境的な見地から、東お多福山を何とかしたいと私は、兵庫県立人と自然の博物館を訪ね服部保先生に相談に行きました。その解決策は、植生調査と刈り払い作業を続けることという教示をいただきました。そこで、植生調査は兵庫県立人と自然の博物館より調査員を派遣していただき、刈り払い作業は私が4つの自然保護団体に参加を求めてスタートすることになりました。草原の重要性は、それぞれの立場で語られます。花好きのハイカーは、季節ごとにそれぞれの花々を楽しみに登ってきます。研究者は、草原の持つ生物多様性の観点から植生調査を続けます。材の利用者は、ス



刈り払い風景-背景のネザサが10年前には東お多福山の全面に拡がっていました。  
写真提供：桑田 結

スキ材の利用で文化財の修復を行っています。このように草原の持つ無限の可能性を感じるのです。

ここで草原について少し難しい話をしますと、ススキやチガヤの優先する草原などの半自然草原は、わが国の草原生植物の多様性の維持には欠くことの出来ない貴重な環境です。しかし、1910年代に国土面積の約8%を占めていた半自然草原の面積は、現在では1%未満に減少し、消失の危機に瀕しています。また、残された大規模

### 平成30年度 関西支部総会のご案内

- 日時 2018年4月25日(水) 午後6時30分  
場所 OIT梅田タワー 2階 セミナー室202  
大阪市北区茶屋町1番45号  
JR大阪駅から徒歩5分 (案内図p3 掲載)  
議事 ①平成29年度 活動報告、会計報告  
②監事辞任に伴う新監事選任  
③平成30年度 活動計画、会計予算ほか  
懇親会 午後7時30分より 会費5,000円  
同ビル1階「梅田ワーフ」

\* 4月18日(水)までに同封ハガキに62円切手を貼付のうえ出欠をご返事ください。

|                    |    |
|--------------------|----|
| 自然保護行事             | 21 |
| 支部山行計画             | 18 |
| 新入会員・会友紹介          | 17 |
| 会務報告               | 15 |
| 氏が亡くなられた           | 14 |
| 山の本の出版に情熱を注がれた中西健夫 | 12 |
| 日本の山岳画集 その4        | 11 |
| 自己紹介               | 10 |
| 須磨アルプス             | 10 |
| 又口く古川く養久山丘陵く須留ヶ峰く  | 10 |
| 大原く摺鉢山く烏谷山く県境縦走    | 10 |
| プスく鷹峯く鞍馬くほしだ園地く鞍馬  | 10 |
| ▽金剛童子山・依遅ヶ尾山▽金勝アル  | 10 |
| 支部山行報告             | 4  |
| 著者と語る会報告           | 4  |
| 岩崎しのぶ              | 2  |
| 竹森壮孝               | 2  |
| 平成30年関西支部新年会報告     | 1  |
| 桑田 結               | 1  |
| やっぱり 東お多福山でしょう!!   | 1  |

### 目次

草原の多くは中山間地域に位置しており、火入れなどの伝統的な手法により維持されていますが、近年の過疎化・人口減少によって、その担い手も困難になりつつあります。このような社会現象においては、中山間地域の半自然草原のみに草原生植物の多様性保全を頼るのではなく、担い手の確保が見込める都市近郊に残る半自然草原の生物多様性機能を高めて、広域での草原生植物の絶滅リスクを低減することが必要かと思われます。

この事業には、環境省神戸自然保護官事務所、兵庫県神戸県民センター、神戸市森林整備事務所、芦屋市などの協力を得て、今では9つの自然保護団体の参加で、年3回、植生調査と全面刈り作業を行っています。

そこで関西地区の皆様をお願いします。現在の都市近郊の半自然草原の草原生植物保全機能を生態学的に評価するとともに、都市住民の半自然草原の保全活動への参画を促したく思っています。

日本山岳会が公益社団法人となったことからしても、組織をあげて自然保護活動に参加していただきたいので

す。昨秋の全面刈りの参加者約80名のうち、JAC関西からは自然保護委員が3名という寂しさでありました。ここで改めてお願いします。年間6回の行事に自然保護委員会の行事、山行委員会の行事と区別せずに参加していただきたいのです。日本山岳会の皆様には、ススキ草原保全再生事業のほか、登山道の補修工事もお願いしています。沢山の参加者が求められています。

私たちの山登りが六甲山に始まり、六甲山に終わるのも楽しい話ではないでしょうか。

あななに参加をお待ちしています。



## 平成30年 関西支部新年会報告

竹森壮孝



写真提供：野口恒雄

東京都心では48年ぶりに氷点下4度以下を記録し、比良山系の蓬萊山でも腰まで埋まる雪が積もるなど日本中で冷え込みが強まった1月25日(木)、梅田大東洋にて恒例の日本山岳会関西支部の新年会が開催されました。

定刻の6時半、金井支部長の挨拶で新年会の幕は開けました。重廣本部副会長の乾杯挨拶では、個人の山行だけではなく、近年は山岳会単位で遭難事故が発生する現状をふまえ登山計画書の提出の重要性を問われました。

美味しいお食事とお酒も入り、時間が経つにつれ、会

場が盛り上がる中、出席された新入会員の3名の紹介もありました。皆さん山の経験も豊富で、これからご一緒できるのが楽しみです。その後も、新本さんの巧みな司会ぶり、多くの皆さまからのお話しをお伺いすることができました。最後は大町観光大使も勤められている平林克敏さんの挨拶で締めくくりました。

楽しい新年会に皆さま後ろ髪を引かれながらの閉会となりました。今年1年、事故もなく、楽しい山行を目指していきたいと思います。

### 参加者

青木昭 新井浩 新本政子 井関正裕 居谷千春 岩崎しのぶ 魚津清和 浦上芳啓 大津陸郎 大塚宏園 岡田輝子 斧田一陽 金井健二 金井良碩 瓦葺邦夫 清瀬祐司 久保和恵 黒田記代 黒田守彦 小寺佳美 齋藤修 阪下幸一 重廣恒夫 嶋岡章 城隆嗣 高木知子 竹森壮孝 田島聖子 辻和雄 中村久住 中村三佳 中山勝也 野口恒雄 橋本圭之輔 平井一正 平林克敏 廣田猛夫 前田正彰 水谷透 宗實慶子 宗實二郎 茂木完治 森本悠介 保田健一 山田健 (首都圏)澤田幸子 会員外1 計47名



## 欠席者の近況

◎今冬は11月末から雪になり、スキーを楽しんでいます。

13000 井上達男

◎入会させていただきましたが、なかなか山行や行事に参加できず残念です。一人で近場の和泉山脈などで脚力が落ちないように頑張っています。

A0051 上森文子

◎関西支部報楽しく読ませていただきました。すごい活躍だと本当に興味しております。ただ参加者のお名前は知らない人が多く、時代の移り変わりを痛感しております。益々のご活躍を祈ります。 6798 川田哲二

◎東お多福山のネザサ刈りも10年経ちました。ハイカーや子どもたちのハイキングの姿が多く見られるようになりました。私たちがネザサ刈りをしていると判れば「ご苦労さま」と声を掛けてくれる人もいます。唯、残念なことに作業日に日本山岳会の参加者が非常に少ないと言うことです。自然保護委員にだけ任せるのではなく、関西支部員として沢山のご参加をお待ちして

います。

5262 桑田 結

◎スキー三昧です。11月の末よりスキー場がオープンし、1月の前半で21日スキーをしました。

16121 柴田美生子

◎医療職から引退し、年齢も老齢となりましたので、失礼いたします。ご盛會を祈ります。 5590 塚崎義人

◎支部登山教室上級に参加して、重廣先生に鍛えられています。 15628 永井 和

◎関西支部に入らせていただきましたが、支部山行に参加できておりません。4000山グランプリ、県境縦走など興味あり、参加していきたくと思います。よろしくお願ひします。 15591 廣田伸治

◎米寿となり歩くのがおっくうになりました。和歌山から大阪は遠く、先日家内の三回忌に阪和線が不通となり、黒江(海南市)から京都まで6時間かかりました。 4486 三木 亮

◎任意の山の会に参加し、低山を歩いています。地力を回復し、支部の山行に参加できればと思っています。 14289 村田悌章

## 登山計画書提出のお願い

安全委員会委員長 茂木完治

昨年、日本山岳会で不幸な事故があり、本部で遭難対策規定が見直され、関西支部でも安全委員会を立ち上げて安全向上に向けた取り組みを始めました。安全の第一にすべきは登山計画書を出していただくことです。計画書は書くことで事前に山を知る効果もありますが、それよりも遭難が起きた場合に迅速な対応によって命を救うことが最大の目的です。何が起きるかわからないのが山です。常に備えが必要です。計画書の提出フォームを作りましたので、本誌20頁をコピーするか、関西支部

ホームページからダウンロードして提出してください。

1 提出の必要な山行：宿泊を伴う山行(前夜泊含)

岩、沢、雪山などバリエーションは日帰りも必要

\*他組織、団体、ガイドなどの主催者により登山計画書と参加者名簿が適切に作成されている場合は不要

2 提出先

①メール：keikakukansai@yahoo.co.jp【新規アドレス】

②fax：0742-48-5946 黒田記代

③郵送：〒630-8034奈良市五条西1-29-4 黒田記代

3 提出期日：出発1週間前

## 第34回支部懇談会(北海道支部主催) 参加申込みについて

7月21日(土)～22日(日)開催(詳細「山」No.872 2018年1月号)所属支部による一括申込みとしていますので、参加希望者は「支部懇談会参加費」と明記の上、4月20日迄に下記口座へ会費をお振り込みください。

口座加入者名：日本山岳会関西支部第2口座

郵便振替口座番号：00980-3-166138

問合先 新本政子 e-mail:masako-ara@able.ocn.ne.jp

Tel:090-7757-1495

## 平成30年度関西支部総会 会場案内図



\*\*\*\*\*

**新入会員オリエンテーション開催**

新年会に先立ち、支部ルームで5時半から2017年に入会された新会員15名中6名の出席によりオリエンテーション—自己紹介に始まり、金井支部長による関西支部の概要説明、各理事よる活動紹介など—が行われました。

**著者と語る会報告****講演「山と宗教」**

岩崎しのぶ

11月18日(土)、弁天町ORC200生涯学習センターにて関西支部恒例の「著者と語る会」が午後2時より開催された。

今回の講演者は支部会員の中川委紀子さんだが、まずプロフィールの紹介で驚いた。すごい経歴の持ち主であると共に今なお現役で、和歌山・岩出市にある根来寺文化研究所所長として活躍されている。まさに女性の活躍を地でいかれている方だ。パワーみなぎる方かと思いきや、とても女性的で柔らかな口調で話される。このソフトな物腰は一体どこから来るのか、話に聞き入った。

仏教の誕生から、その教えがどのようにして日本にたどり着いたか、そして日本で定着した経過など興味深く聞かせてもらった。

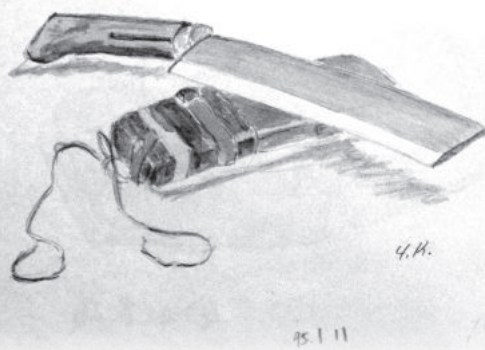
世界三大宗教の一つである仏教は、他のキリスト教やイスラム教のような絶対神ではない。他の教えも受け入れる柔軟な心を持っている。宗教なら頂点は1つの筈だが、世界の紛争の根源には、排他的な絶対神の精神が潜

んでいると思われる。

日本人は神社仏閣、また路傍のお地蔵様にも出会えば手を合わせ祈る。それは祈る対象が、目の前の物体を通して頂点の神にだからではないだろうか。どれも大切な神様なのだ。日本には霊山が多くあり、近畿だけでも59座あるという。驕ることなく、自然を敬い山に畏敬の念を抱く。そして新たなパワーを授かる。山にはそのような力が潜んでいるような気がする。曼荼羅についても説明があったが難しい。仏教の奥深さを知らされた講演だった。

**参加者**

浅田博三 新本政子 井関正裕 岩崎しのぶ 魚津清和  
浦上芳啓 小黒節郎 金井健二 金井良碩 岐部明弘  
久保和恵 黒田記代 河野直子 小林三喜男 薦田佳一  
嶋岡章 高木知子 田頭夏子 武田壽夫 田中アキエ  
辻和雄 戸島泰三郎 中川委紀子 中島隆 中村久住  
中山勝也 野口恒雄 播戸日出生 廣瀬健三 松上美代子  
宗實二郎 宗實慶子 茂木完治 森沢義信 山内幸子  
横山規江 若林朋世 会員外4名 計41名

**支部山行報告****支部山行17-32 4000山グランプリ  
金剛童子山・依遅ヶ尾山**

村田かおり

**11月11日(土)曇時々小雨**

等楽寺高原口から林道を約2km、エナガの愛らしい声に導かれながらの楽しい山行の始まりである。1時間程で「金剛童子山高原登山口」に到着。歩きやすい登山道を進むと20分程でスタジイの大木が迎えてくれる。程なく作業小屋だろうか建物が見えて来た。ここから約10分

で山頂分岐を経て展望台に到着。一瞬山頂かと勘違いをしてしまったが、約500m歩いて山頂(三等三角点・金剛山)である。小ぶりだが綺麗な避難小屋もあり、ここで小休止する。山頂より南南東へ下り、不動明王を祀った祠を過ぎると水芭蕉の群生地へと下り立つ。味土野登山口までの道も良く約3時間で下山となった。ガラシャ碑からタクシーで依遅ヶ尾山登山口広場まで移動し、ゆっくりと秋の夕景と焼酎を楽しみ就寝。

**11月12日(日)晴**

まだ空には北斗七星の見える4時半に起床。登山口を

出発し林道を30分程行くと「いっぷく展望地」に到着。ここからは「あと700m」「祠印：あと500m」と何やら細かい道標のカウントダウンを受けながら山頂(二等三角点・一ヶ尾)には約1時間弱で到着した。眼下には日本海が見渡せる。振り返ると昨日の金剛童子山が確認出来た。三角点直下には石造りの祠に役小角が祀られており、隣には朱塗りの真新しい社もある。小休止の後ピストンで下山。登りには気づかなかったが430m付近の登山道に鳥居跡あり、石柱や鳥居の一部が倒れるがままに埋もれていた。最後に茅葺屋根の休憩所「ありが棟」のお出迎えを受け、今回の4000山は終了となった。

**【コースタイム】**

11日 等楽寺高原口12:19~13:41金剛童子山高原登山口~14:01スダジイ大木~15:04金剛童子山~15:17水芭蕉群生地~15:36味土野登山口~15:47ガラシャ碑

12日 依遅ヶ尾山登山口05:50~06:31いっぷく展望地~07:11依遅ヶ尾山~07:42鳥居跡~08:20依遅ヶ尾山登山口

**【参加者】**

重廣恒夫 野村珠生 中村三佳 村田かおり 計4名

面の景色が一望できる。子供の団体や家族連れがキャーキャー言いながら楽しんでいる。ひとしきり堪能した後、更に北峰縦走路を辿り白石峰の分岐から狛坂磨崖仏を往復。白石峰の分岐から竜王山(604.6m)に登る。

竜王山から金勝寺へは舗装された林道を辿り、地図に標高のみ記載されている金勝山のピーク(566.7m)を探して登る。金勝寺の境内は立ち入り禁止となっていた(後日調べると、拝観は事前に予約しないとダメだそうです)。

金勝寺バス停から「こんぜめぐりちゃんバス」でJR手原駅に到着。

落ヶ滝、鶏冠山、天狗岩の岩場、狛坂磨崖仏、竜王山と変化に富んで楽しい山行でした。

**【コースタイム】**

草津駅08:00(帝産バス)08:30上桐生バス停~落ヶ滝~10:25鶏冠山~天狗岩・耳岩~12:48白石峰~狛坂磨崖仏~白石峰13:40~13:57竜王山~15:20金勝山~金勝寺16:00(こんぜめぐりちゃんバス)16:48手原駅

**【参加者】**

山内幸子 新本政子 小黒節郎 久保和恵 辻和雄 野口恒雄 水谷透 計7名

支部山行17-34 しっかり歩こう  
**金勝アルプス 鶏冠山~竜王山・金勝山**  
 辻 和雄

11月19日(日)晴

上桐生のバス停を少し歩くと、トイレ・広い駐車場・案内板がある。思った以上に駐車している車が多い。

沢沿いの道を少し迷いながら落ヶ滝(滝は意外と落差がある)に寄り、北峰縦走線から鶏冠山(490.8m)に到着。稜線伝いに先に進むと迫力のある岩峰群が見え、岩場で人気の天狗岩に到着。なかなかの岩場で、バランス良く登る必要がある。岩場の上は高度感が凄い。琵琶湖の南



天狗岩を望む 写真提供：辻 和雄

支部山行17-35 ゆるやか山行 東海自然歩道を歩く6  
**西賀茂コース 鷹峯~夜泣峠~鞍馬**  
 石原順子

11月23日(木・祝)晴

前夜からの雨で心配していたが、集合時には晴天に恵まれ心が弾む。鷹峯源光庵では既に参詣者たちが真っ赤に色づいたモミジを楽しんでいた。全員が揃ってスタート。

暖かい陽射しを浴びながら住宅街の中の東海自然歩道を北に歩く。途中、臨濟宗南禅寺派吉祥山正伝護国禅寺に立ち寄る。凜として由緒ある寺の参道は一面モミジの落葉で美しい。ご本尊は釈迦如来、加納山楽筆の襖絵や「獅子の児渡し」の庭も鑑賞できるのだが、今回は断念し、またの機会にと後にした。

鴨川(賀茂川)を北上し、「熊出没」と書かれた看板のある山道を進むと杉林全体に広がる台風21号の被害跡は根おこし、中折れ状態の倒木で惨憺たる山肌の光景に驚いた。夜泣峠へ入る林道沿いの陽だまりで昼食をとり再出発。時折しぐれる山道を進んだ。峠には謂れのとおり小さな地藏尊の祠があった。行き交う人にも会わず、急な下り坂もあったが、モミジばかりのフカフカ落葉の上を歩き、美しい紅葉に穏やかな晩秋を味わう贅沢な一日だった。



【コースタイム】

鷹峯源光庵前09:21～10:09正伝寺本堂～11:15山幸橋～12:04大岩12:40～13:05夜泣峠～14:11由岐神社御旅所～14:32鞍馬駅

【参加者】

久保和恵 魚津清和 石原順子 浦上芳啓 嶋岡章 戸島泰三郎 中島隆 橋本圭之輔 廣瀬健三 森沢義信 秋月修次 浅田博三 岐部明弘 小林三喜男 田中アキエ 中田栄 蓮川博凡 播戸日出生 会員外1 計19名



落葉踏みしめ夜泣峠を下る 写真提供：魚津清和

支部山行17-36 山の日関連行事・わんぱく探検  
大阪府民の森・ほしだ園地

茂木完治

11月26日(日)晴

ほしだ園地はクライミングウォールや星のブランコという大きな吊橋がある交野市の人気の園地で、ちょうど紅葉シーズンと重なり大変な人出であった。おかげで集合場所の園地の駐車場が満車で京阪・私市駅近くの臨時駐車場に置く羽目となり、集合が30分遅れというハプニングで始まった。

ピトンの小屋から川沿いの道に行く。階段路になっても小さい子も頑張って登り、星のブランコのたもとで記念写真を撮った。星のブランコは高度感抜群でけっこう揺れる。子供達にはちょっと怖かったようで、こわごわ渡っていた。吊橋を渡って少し登るとやまびこ広場に出る。昼食中の家族連れで賑わっていた。私達もシートを敷いてお昼にした。

食後は恒例の紙飛行機大会である。この日のために用意した模造紙を折って大きな飛行機を作り、広場横の傾斜地の上部から飛ばした。最初の一機はとんでもなく飛んで広場の上を横切り対面の林に飛び込んで行った。行く、行く、行く一、行った一、ワー。これが飛ばした子はもとより全員の心に火を点けたようだ。夢中で飛ばして、斜面を上へ下へと駆けずり回った。それを見ていた



全員集合星のブランコ前 写真提供：茂木完治

他のグループの子たちも寄って来た。飛行機を作ってあげると仲間になって、飛ばしっこを始めた。しばらく遊んでからさえずりの小路を下ってピトンの小屋に戻り、向かいにある子供用ウォールで遊んでから解散した。

さすがに3歳の子供たちは疲れたようで、抱っここの下山だった。子供達は満足してくれたようで、スタッフの皆様ご苦労様でした。

【参加者】

金井良碩 久保和恵 黒田記代 茂木完治 茂木美穂子 宮崎晴子 橋本智裕 橋本喜子 橋本彩里(7歳) 橋本玲奈(3歳) 松根葉子 松根怜音(8歳) 松根里奈(3歳) 計13名

支部山行17-37 ゆるやか山行 東海自然歩道を歩く7  
薬王坂コース 鞍馬～江文峠～大原

魚津清和

12月7日(木)晴

西の起点から歩き始めた東海自然歩道今年最後の例会山行は、約12kmの行程である。忘年会を兼ねた山行とあつてか、参加者は35名と大所帯となった。

鞍馬駅前広場でコース概要など説明があり、駅前車道に面した前回の東海自然歩道離脱点を踏んで北へ歩き始め目の前の鞍馬寺仁王門(246m)から本殿(402m)まで高度差約150mを一気に登って本殿周辺を散策。下山後は左へ80mほど歩いた所の道標に従って東へ細い路地を通り抜け鞍馬川を渡って正面の八幡宮、地藏寺を通り過ぎると、いきなり急な薬王坂が待ち受ける。

好天に恵まれポカポカ陽気の中、登り始めると汗ばむ程。峠(376m)で昼食。峠は分岐になっていて北へ天ヶ岳の道標があり、傍に設置されている薬王坂についての説明板には「昔、伝教大師が鞍馬で薬王如来の像を造り、

比叡山に帰ろうとしてこの坂を越えた時、葉王がその姿を現したことからこの名がつけられたといわれている」と書かれてあった。

昼食時は久しぶりに会った方々の笑い声が絶えなかったが、やはり動かないと体が冷えていくのがわかる。食後早々に片付けを済ませ、静原の里に向けて東側斜面を下り下山。地形図に表示がある集落手前の三角点を探す。田圃と擁壁間の法面で拜むことが出来た。四等三角点(点名：谷ヶ市)207m。宝物探しのワクワク感覚であった。そのあと静原の集落に沿って東へ進み、途中府道40号線と合流。アスファルト道を江文峠(302m)まで歩く。

江文峠からは府道を離れて山道を少し登った後は、緩やかな下りで大原の里に入る。忘年会の予約時間調整の為、東海自然歩道のコースから外れるが建礼門院ゆかりの寺(寂光院)に立ち寄る。大原バス停前で東海自然歩道薬王坂コースを終える。忘年会会場へは、この地からバスと地下鉄を乗り継ぎ京都駅前会場に向かう。



鞍馬寺仁王門に向かう 写真提供：魚津清和

### 【コースタイム】

鞍馬駅10:11～10:48鞍馬寺本堂～11:24鞍馬寺仁王門～11:52薬王坂峠12:26～13:38江文峠～14:42寂光院～15:35大原バス停

### 【参加者】

久保和恵 魚津清和 新井浩 新本政子 上田典子 浦上芳啓 岡田輝子 金井健二 瓦葺邦夫 黒田守彦 薦田佳一 嶋岡章 戸島泰三郎 野村哲夫 橋本圭之輔 平井一正 廣瀬健三 前田正彰 松上美代子 松波幹夫 松村文子 松村竹次郎 森沢義信 山下政一 秋月修次 浅田博三 岐部明弘 黒岩敦子 小林三喜男 田中アキエ 中田栄 蓮川博凡 播戸日出生 横山規江 会員外1 計35名

## 支部山行17-38 比良山系を歩く 摺鉢山～烏谷山

関戸京子

### 12月9日(土)曇

前日の金曜日、吹田市ではみぞれ交じりの雨がアスファルトの地面をたたきつけ、木枯らしが吹き荒れた。明日は？と心配したが、当日は薄曇り、昨日降ったであろう雪でうっすらと雪化粧した樹林の中、新雪を踏んで歩き、ほんの一瞬、摺鉢山の頂上で明るい日が差し、途中で琵琶湖が青く広がっているのが見渡せるなど、充実した楽しい山行でした。

朝JR堅田駅、「試合に参加する学生の団体さんが乗車する」とのことでバスの出発が少し遅れ、それやこれやで地主神社登山口を予定より遅れて出発。赤や黄色の落ち葉を踏んで牛コバに到着。

男性陣(といっても一人)は完全な冬装備に身支度を整え、私を含めた女性陣はどちらかといえば軽装のままここから山道に入って登りとなる。地面に雪がうっすらと積り途中から登山道を外れ、風が吹き始め寒く感じる。ところどころにテープがあり、雪の上からでも踏み跡があるのが分かり迷うところはない。12:30摺鉢山(1006m)。ここで昼食をとるが、風があり冷たい。あとで送っていただいた集合写真を見ると私は寒そうな顔をして写真に納まっていた。

30分ほど休んで、烏谷山三角点(1077m)へ。ここから葛川峠へ向かう。まだ樹氷にはなっていないが、木々の枝に雪がつもり、獣(鹿?キツネ?)の足跡が雪の中にとところどころに残り、山の中にいることを実感できる。

比良岳は最高地点(1051m)に標識らしいものがない。「この辺り」、「いや行き過ぎ」、地図とGPSを頼りに歩き周り最高地点を踏む。帰宅してからGPSを確認したが、



新雪の摺鉢山に立つ 写真提供：横山規江



どうも最高点はもう少し先のようにだった。

交代で先頭にたちアイゼンをつけずにサクサク新雪を踏んで素晴らしい。木戸峠から打見山(1108m)を経てびわ湖バレイロープウェイ山頂駅にほぼ予定どおり15時30分に到着。山道からまだ雪のないスキー場の急坂を最後に登るのは結構きつかった。体力が落ちた？本気で心配した。みんな元気に終了しました。トレーニングとしても充実した山行でした。

#### 【コースタイム】

坊村・地主神社09:55～10:30三の滝～10:48牛コバ～12:30摺鉢山12:58～13:20烏谷山三角点～13:50葛川峠～14:21比良岳～14:55木戸峠～15:25打見山山頂駅(ロープウェイ)山麓駅

#### 【参加者】

久保和恵 上田典子 関戸京子 松仲史朗 黒岩敦子  
横山規江 計6名

支部山行17-40 県境縦走54  
又口～刈茂山～古川

黒田記代

#### 12月23日(土)晴

22日に松坂駅周辺ホテル前泊。23日朝 松坂駅7時25分発の三重交通南紀特急バスで尾鷲駅に移動し、タクシーで又口橋に向かう。又口橋から前回の県境離脱点「山の神」前まで歩いて5分ほど。各自、テント泊で使用する水を汲み、身支度を整えて、歩き始める。P521まで急登が続く。踏み跡がしっかりある登山道を進み、今回唯一の三角点の山・刈茂山に到着。山頂は大きく切り開かれていて、尾鷲湾が良く見えた。宿泊予定地であったが、日没まで余裕があったので、次の開けた地点まで進むことになり、鉄塔のある台地にテントを張った。



早朝、テント場からの尾鷲湾 写真提供：重廣恒夫

#### 12月24日(日)晴

4時半起床。真っ赤な朝焼けの中、テント撤収。本日も天気良く、ここからも尾鷲湾が良く見えた。今日の縦走路も踏み跡がしっかりあり、順調に歩を進める。途中、岩場の通過もあったが、予定よりかなり早く終了点に到着した。タクシーの予約時間より2時間近く早く着いたが、携帯電話が通じず、じっと待っていても寒いので、予約したタクシーに逢うまで国道425号を歩いた。

#### 【コースタイム】

23日 又口県境復帰点10:41～12:33P521～15:43アゲグチ峠分岐～16:04刈茂山～16:50 鉄塔テントサイト

24日 テントサイト06:58～07:12P984～10:01古川下降点～10:07ミキ橋

#### 【参加者】

新本政子 黒田記代 重廣恒夫 計3名

支部山行17-41 陽だまり山行  
養久山(やくやま)丘陵

永野彰一

#### 1月6日(土)曇

2018年最初の支部山行は第13回陽だまり山行「養久山丘陵歩き」。養久山丘陵は、揖保川町大門から揖保川町野田までの標高100m前後の丘陵地。今回歩くルート上には古墳や墳墓が連なり四等三角点や中世城跡があり、山麓には日吉神社や野田焼窯跡などがある。

各地からJR竜野駅に集合。国道2号線を北に渡り、神戸(かんべ)神社で今年一年の安全登山を祈願する。県道440号線を北に進み、養久本条登山口に向かう。車道歩きを終え北西に伸びる遊歩道に入るのだが、ここが分かりづらい。登山口で衣服調整後、一登りで養久山1号墳。3世紀後半の初期前方後円墳で、前方部が三味線の撥形であるとのこと。養久山2号墓などが連続して続く尾根道を歩き、四等三角点養久を通り、室町時代の山城で龍野城の出城とも言われる乙城(おとじょう)跡に到着。穏やかで暖かい天候に恵まれ、ここでしばし「お汁粉タイム」。続く鞍部の石仏(弘化4年の銘)から養久集落への分岐を過ぎ、展望広場で遠望を楽しみながら懐かしい山行の話題で盛り上がる。山陽自動車道に並行する快適な山道を日吉神社登山口で下山。野田焼古窯跡前を西に進み日吉神社到着。ここで昼食休憩。須磨岡さん持参の天然しし肉の焼き肉と香住鶴を美味しく頂戴する。

その後、龍野城大手門を移築した因念寺山門と、国重要文化財指定永富家住宅を見学して竜野駅に戻り解散。





養久山1号古墳にて 写真提供：永野彰一

準備、要所要所での説明とリーダーの須磨岡さんにはお世話になりました。参加の皆様お疲れ様でした。

### 【コースタイム】

JR竜野駅09:30～09:37神戸神社～10:14養久本条登山口～10:27養久1号古墳～10:54乙城址～11:57野田焼古窯址～12:30日吉神社13:13～13:24因念寺山門～13:41永富家～15:45JR竜野駅

### 【参加者】

須磨岡輯 山内幸子 新本政子 金井健二 金井良碩 黒田記代 嶋岡章 中島隆 永野彰一 橋本圭之輔 前田正彰 宗實慶子 横田祐樹 岐部明弘 横山規江

計15名

## 支部山行17-43 4000山グランプリ 大杉山～須留ヶ峰～スリガ峰

重廣恒夫

### 1月13日(土)曇

八鹿駅からタクシーで建屋を経て餅耕地に向かう。集落手前で下車して南側のP697.6mに上がる尾根を辿り稜線通しに大杉山に向かう計画であったが、雪が少なく時間がかかるとの判断で、集落を抜けた所で下車しベランコースへと向かう。

歩き始めてすぐに鳥居があった。一般登山道との分岐である。途中左手に石楠花自生地の看板を見て進む。林道の終点には駐車スペースもあり、ここが登山口である。雪に覆われた沢沿いの道を進むと大岩があった。何回か丸太の橋を渡り、沢筋を離れて左岸につけられた急な道を西進する。斜面が緩やかになると植林地となり、ほどなく公団林道に合流した。林道は沢筋で分断されておりすぐに終点となった。雪も深く堅くなったのでアイゼンを履いて尾根筋を進む。途中から巻き道となり、沢筋を

越えてから南西に進むと大杉山と小須留ヶ峰を結ぶ稜線に出た。ここから稜線通しに北上し大杉山(1048m)の頂に達した。晴れていれば氷ノ山や妙見山が見えるらしいが、随分前から雪が降りだし風も強くなって視界はない。テントを張る場所を探しながら須留ヶ峰への稜線を進み、一つ手前のピークの下吹きさらしの平坦地にテントを張った。

### 1月14日(日)晴後曇

昨夜は20～30cmの降雪があったが、吹きさらしの場所にテントを張ったので、夜中に雪下ろしの必要はなくぐっすり寝ることが出来た。今日は昨日とは違って変わった好天で、濃い橙色の朝陽が霧氷を染める幻想的な光景を見ながら須留ヶ峰(二等三角点1053.5m)に立った。木柱の標識1本の寂しい頂上である。山頂からはスリガ峰に向かう稜線を辿る。北西方面の展望が開け、昨夜一晩で雪を冠った峨峨たる山並みが見える。スリガ峰(四等三角点1021.9m)北西尾根下から大屋町明延に続く林道に向かうが、尾根が急で複雑なためロープを結んだ。途中二股に別れた尾根筋を右に行くところを左に入ってしまうが、下部の緩傾斜地で北東に修正し、林道終点に出た。ここからも尾根筋を田淵の近くまで下る予定であったが、切株や倒木で歩きにくいので、途中から林道を忠実に下り明延の郵便局前で八鹿からのタクシーを待った。

### 【コースタイム】

13日 タクシー降車11:33～12:16石楠花自生地分岐～13:46公団林道合流点～14:09林道終点～16:30大杉山～16:55テントサイト

14日 テントサイト07:05～07:50須留ヶ峰～10:32スリガ峰～12:20林道合流点～14:36明延南谷郵便局

### 【参加者】

黒田記代 野村珠生 立野里織 重廣恒夫 計4名



須留ヶ峰山頂にて 写真提供：重廣恒夫

## 支部山行17-44 ゆるやか山行 須磨アルプス

岡田輝子

1月18日(木)晴

「須磨アルプス」は、アルプスの名を冠するに値するすばらしい地形の中を歩くことができる、六甲屈指の魅力のコース。

新年の「ゆるやか山行」は風のない晴天が祝福してくれた。皆様の新年のご挨拶とともに始まり、まずは須磨浦公園駅のそばの敦盛塚へ。この地は源平の時代に誘ってくれる歴史の宝庫でもある。念入りな準備体操のあと、柔らかな陽差しを背に急な階段の道を鉢伏山まで一気に登る。ほどなく旗振山山頂の旗振茶屋(四等三角点・点名鉢伏山252.6m)へ。明石海峡大橋から大阪湾をグルリと見渡す一眼千里の眺望に元気が蘇る。ここからは、なだらかな山道を鉄拐山へ。鉄拐山は義経が一ノ谷の平家陣屋めがけて奇襲した、あの有名な「鴨越の逆落し」の山。しかし、ここより東8kmの鴨越の地名の残る辺りという説もあり。松尾芭蕉もいやがる案内の子をなだめてこの鉄拐山に登ったらしい。義経ロマンは尽きない。この頂上から飛び込むに等しい鉄拐山の急傾斜に感無量。

昼食は、「神戸らしい眺望景観50選」の39番「おらが茶屋」で。さて、午後は高倉山から急な階段をドンドン下り、道路にかかる吊り橋を渡り、見上げると上が見えない数百段の階段上りが梅尾山頂上付近まで続く。何箇所か休憩場所もあり、手すりも完備されている。一息ついて横尾山(二等三角点・点名須磨312m)へ。ここから本日の核心部が始まる。風化し崩れた花崗岩が絶景を創る中を歩く。時代の変遷か、階段や鎖まで設置あり。途中、馬の背では、テレビ局がトレランの撮影までしている。足止めで見ているとモデル君は何度も走って来ては取り直し、6回は見たね。東山から山道を下り、板宿八幡神社



馬の背無事通過全員集合！ 写真提供：魚津清和

に立ち寄る。雅楽が流れる中、神主さん達が正装で現れた。新年にあたり、ゆるやか山行の今年の安全登山無事下山を祈る。ふるまわれた甘酒を味わって、板宿駅へ向かった。

### 【コースタイム】

須磨浦公園駅10:05～11:05須磨浦ロープウェイ山頂駅～11:20旗振山～11:39鉄拐山～12:06おらが茶屋12:35～12:51高倉山団地～13:59横尾山～14:33馬の背～14:57東山～15:54板宿八幡神社～16:25山陽電鉄板宿駅

### 【参加者】

久保和恵 魚津清和 新井浩 新本政子 内田昌子 岡田輝子 金井健二 瓦茸邦夫 嶋岡章 戸島泰三郎 中島隆 中山勝也 前田正彰 松波幹夫 秋月修次 浅田博三 岐部明弘 黒岩敦子 小林三喜男 田中アキエ 蓮川博凡 (京滋)内田嘉弘 会員外1 計23名

### 支部山行17-33 県境縦走54(11月18～19日予定)

都合により中止 12月23日～24日に順延

### 支部山行17-42 しっかり歩こう(1月8日予定)

都合により3月4日に延期

### 支部山行17-45 比良山系を歩く(1月20日予定)

都合により中止

## 「本山寺山森林づくりの会」活動報告(2017年10月～12月)

武田壽夫

2017(平成29)年10月5日(木) 9:30～15:30

天候 晴(12時の気温:16℃)

エリア:44林班ろ

内容:枯損木除伐と林床整備、里道保全

・林床整備:0.1ha、里道整備:30m

【参加者】 石原順子 斧田一陽 倉谷邦雄 武田壽夫  
中村賢三 宮本廣 山本國夫 (計7名)

2017(平成29)年10月15日(日) 9:30～15:00

天候 雨(12時の気温:14℃)

エリア:45林班に-03

内容:常緑広葉樹と枯損木の除伐、林床整備、作業道  
保全

・林床整備:約0.1ha、作業道保全:枯枝等整理で一部  
通り易く(ほか常緑広葉樹は中径木約30本、小径木は



枯木も含め多数除伐、枯損木の松を1本除伐)

**【参加者】** 石原順子 泉家恵子 斧田一陽 小櫃徹夫  
後藤和子 杉本佳英 武田壽夫 宮本廣 山本國夫  
(計9名)

2017(平成29)年11月2日(木) 9:30~15:30

天候 晴(12時の気温:14℃)

エリア:44林班い・ろ・に、並びに45林班に-01

内 容:44林班内の巡視を兼ねた林床整備、自然歩道・里道の整備・保全ほか

- ・主眼は台風21号(10/25)の影響把握と倒木・落枝など復旧・整理に着手すること
- ・倒木は大小径木10本以上処理、林床整備0.1ha、水切り溝修復9ヶ所
- ・調査区のチェック2ヶ所、その他、各所で落枝処理

**【参加者】** 斧田一陽 倉谷邦雄 後藤和子 武田壽夫  
宮本廣 山本國夫 (計6名)

2017(平成29)年11月19日(日)9:30~15:00

天候 曇(12時の気温:4℃)

エリア:45林班に-03・ろ-03

内 容:活動地南半分エリアにおける台風の影響把握と後始末(各活動区域の巡視を兼ねる里道の整備・保全、モニタリング調査区の現況確認ほか)

- ・里道約300mの区間の倒木・落枝を整理
- ・調査区では今後の整備に必要な「相対幹距比」の基礎データ(標準木の樹高、樹種別立木数)を計測
- ・落枝が懸念される天狗杉手前の太いモミには「頭上注

意」のポスターを掲げる

**【参加者】** 石原順子 泉家恵子 斧田一陽 倉谷邦雄  
下沖裕子 武田壽夫 宮本廣 山本國夫 (計8名)

2017(平成29)年12月7日(木)9:30~15:30

天候 晴時々曇(12時の気温:4℃)

エリア:45林班に-03・ろ-03

内 容:モニタリング調査区並びに隣接地の林床整備、密生樹木・枯損木の除伐

- ・里道の整備と狭隘危険箇所の拡幅
- ・林床整備200㎡、里道整備100m
- ・里道の危険箇所を補修を実施(約10m)

**【参加者】** 斧田一陽 小櫃徹夫 倉谷邦雄 武田壽夫  
杉本佳英 山本國夫 (計6名)

2017(平成29)年12月17日(日) 9:30~15:30

天候 晴(12時の気温:0℃)

エリア:45林班に-01

内 容:作業小屋と周辺の清掃、安全研修(座学、実技演習、備品チェック)ほか

- ・研修テキスト(林業・木材製造業労働災害防止協会編『チェーンソー作業の安全ナビ』)から伐倒時の安全確保に必要な項目を抜粋して使用
- ・座学の後、2班に分れて伐木の基本動作を確認・励行しながら針葉樹・広葉樹各1本の伐倒作業を実施

**【参加者】** 石原順子 泉家恵子 斧田一陽 倉谷邦雄  
黒山泰弘 下沖裕子 杉本佳英 武田壽夫 山本國夫  
(計9名)

## 自己紹介(皆さんよろしく)

保田健一(会員番号16252)

この度、縁あって入会させて頂いた保田健一と申します。山岳活動としては大学時代に関西学院大学体育会ワンドーフォーゲル部にて、山スキーを用いた雪山縦走をメインに活動しておりました。同時に基礎スキー技術の習得にも努め、大学3年時にSAJ一級取得後、4年時には志賀高原スキースクールにてインストラクターも経験しました。

卒業後は年数回百名山に登頂したり、スキー検定テクニカルプライズ取得を目指してゲレンデスキーの練習をする程度でしたが、昨年より、子育ても一段落したこと

から本格的に登山(雪山も含む)を再開しております。

登山技術に関しては、大学3年時に立山にて文部省主催の「雪山リーダー研修会」を1度受けたきり、あまり進歩は無いと感じています。機会があれば様々な講習会にも参加してみたく思います。どうぞ宜しくお願いします。  
(やすだ・けんいち 2017/12/17受)

小阪健一郎(会員番号16248)

「小阪けんじり」と申します。京都府立医大大山岳部に入岳して僕の山岳人生が始まりました。9年間の岳生生活で沢登りと辺クラ(辺境クライミングの略)にのめり込

み、様々な初登頂、初溯行、初登攀をしました。特に、北は奥尻島から南は加計呂麻島までの多数の離島での辺クラには多くの仕送りと情熱を注いできました。大学は去年春に卒業し、現在は明石市立市民病院で皮膚科研修医をやりながら、兵庫県の大滝を巡って攀じっています。詳しい僕の登山遍歴は、山と溪谷社刊「ワンダーフォーゲル」2016年8月号と10月号の「医学生が沢登りにはまるところなる」前編・後編をお読みいただけたら幸いです。

沢ヤの大先輩の茂木副支部長には沢ヤの集まりに何度も誘っていただきました。そこでの全国の沢ヤとの交流は僕の登山人生に多大な影響を及ぼしました。色んなアイデアと技術を学び、そこでできた仲間と台湾の谷に3度、インドネシアの谷と岩峰に3度遠征することができました。今回、茂木さんにJAC関西支部にも誘っていただきまして昨年入会させていただきました。

JACとは学生時代に幾度となくご縁がありました。日中韓三国学生登山交流の第3回(2009年青海省)、第4回(2010年上高地)、第5回(2011年韓国)をJAC学生チーム

として参加したり、東海支部のゴザフェスに何度か参加したり、京都滋賀支部にお世話になったりしたこともありました。これからは関西支部員として沢登りと辺クラで活躍していけたらと思います。山行記録は辺クラ同人ブログ(<http://henkura.dou-jin.com>)に絶賛不定期更新中です。ちなみに昭和63年生まれ、岸和田出身、清風南海高校卒です。よろしくお祈いします。

(こさか・けんいちろう 2018/01/31受)

#### 上森文子(準会員番号A0051)

年齢を重ねても1人でもできる趣味をと思ひ歩く事から始め山登りにたどり着きました。低い山から高い山まで日本の色々な山を登り、岩稜や沢登りにも挑戦したいと思つてます。

知らない事だらけですが色々皆様教えて頂けたらと思います。よろしくお祈いします。

(うえもり・ふみこ 2018/01/31受)

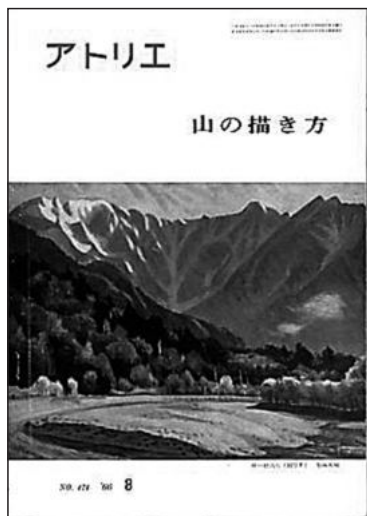
## 日本の山岳画 山書にもふれて(その4)

嶋岡 章

### 5. 「山の描き方」入門書

昭和40年代(1965～)にはいと、山に登る人のなかには山のスケッチをする人もおおくなり、「山の描き方」入門書が渴望されるようになってくる。まず、最初に、それに呼応したのが美術雑誌『アトリエ』(アトリエ出版社 1924-)である。

#### (1) 加藤水城(1910～1991)



第40図

「上高地画家」の愛称で親しまれた加藤水城が主として「山の描き方」を執筆している。

『アトリエ』No.474(1966)の表紙(第40図)は、加藤水城の油彩画「早朝の穂高岳」だ。陽のあたり具合が清々しい。この号で、彼は鉛筆淡彩によるスケッチ手法を解説している。

手本で載せられているボールペン淡彩画もすばらしい。同No.497でも「四季・山の描き方」を執筆している。

#### (2) 足立真一郎ほか

『アトリエ：山の描き方』シリーズ第3弾No.567では、6人の山岳画家が執筆している。

#### ①足立真一郎(1904～1994)

巻頭に登場するのが足立真一郎で乗鞍岳位ヶ原での油彩スケッチを指導している。彼は画集をほとんど著していなかったが、晩年になって画文集『山旅素描』(新ハイキング社 1989)を著している(第42図)。

たくさんの筆描きやペン描きの絵が挿入されていてモノクロ画調が実にすばらしい。

#### ②春日部たすく(1903～1985)

2番目に登場するのが水彩画家の春日部たすくで、乗鞍高原で水彩画を指導している。

#### ③加藤水城

3番目は前出の加藤水城で、山の風物を油彩で描く指



第42図



導をしている。

④藤江幾太郎(1919~2001)

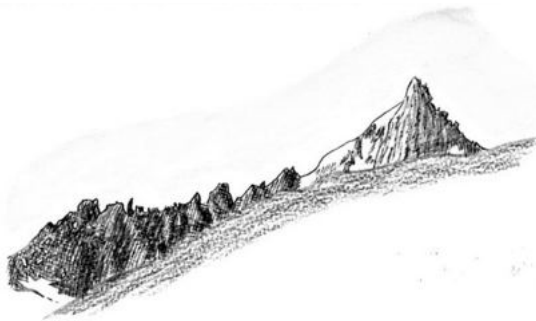
4番目は藤江幾太郎で、「シャモニー滞在記」と多くのスケッチを掲載している。

筆者もシャモニーで二夏過ごしたことがあるので懐かしい。「シャモニーの街から見たドリユー」(第46図)が掲載されてい



第46図

るが、これは間違いで、シャモニーの街からドリユーは見えない。方角としては合っているが、シャモニーの街からは見えないし、ドリユーは岩尾根が左へつづいていない。ドリユーとよく間違えられるのは、エギーユ・ド・グランシャルモから左下への尾根つづきの途中にあるM針峰(2844m)である。実は筆者も最初このピークをドリユーと勘違いしていた。第47図は筆者がホテルのベランダから描いた「M針峰」である。



第47図

藤江幾太郎には、『山の画集』(山と溪谷社 1980)、『山の画文集』(山と溪谷社 1986)、『ネパール画集』(山と溪谷社 1990)の画文集がある。

⑤熊谷樞

5番目は前出の熊谷樞の「ヒマラヤ・トレッキング」である。

⑥山里寿男

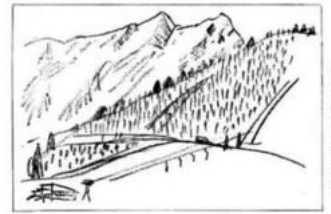
最後の6番目が山里寿男の「山岳スケッチ」であるが、彼については後述する。

(3) 石川滋彦(1909~1994)

石川滋彦は東京芸大の在学中に帝展初入選するほどの逸材である。戦前から北支(現・中国)、戦中は南方従軍、

戦後は北米・中米・南米やヨーロッパ各地を歴訪し画業をみがいている。昭和11年、日本山岳画協会が設立されたときの初期会員であり、昭和17年から東大講師はじめ学習院大講師や明大講師をつとめる一方、昭和34年からNHK教育テレビの「絵画教室」で絵画指導し、この方面でも手腕を発揮した。彼は「山の描き方」だけに限定せず、一般的な「日曜画家」シリーズを著わし好評を得ている。

『日曜画家のスケッチ入門』に「後立山鹿島槍の冬」(第50図)が描かれている。筆者は5月の春山合宿で鎌尾根や東尾根を登り、南峰と北峰との吊尾根の雪庇から北俣本谷に飛びこみシリセードで滑降したこともある思い出深い山である。

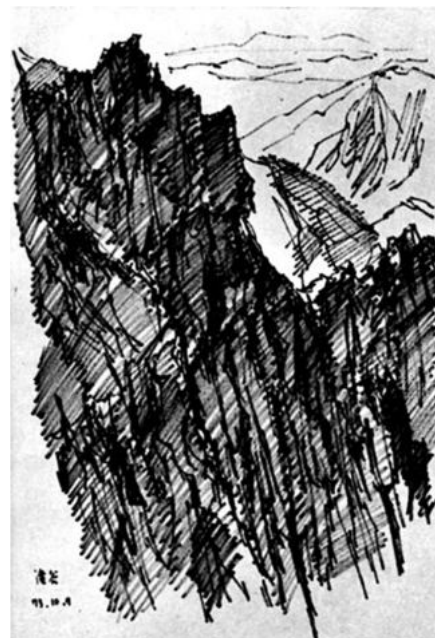


山岳スケッチの入門書として、筆者が著した『山の描き方』(山と溪谷社)の第50図「後立山鹿島槍の冬」のスケッチである。このスケッチは、筆者が5月の春山合宿で鎌尾根や東尾根を登り、南峰と北峰との吊尾根の雪庇から北俣本谷に飛びこみシリセードで滑降したことを思い出している。このスケッチは、筆者が著した『山の描き方』(山と溪谷社)の第50図「後立山鹿島槍の冬」のスケッチである。このスケッチは、筆者が5月の春山合宿で鎌尾根や東尾根を登り、南峰と北峰との吊尾根の雪庇から北俣本谷に飛びこみシリセードで滑降したことを思い出している。

第50図

(4) 山里寿男(1931~)

山里寿男は、前述の『アトリエ』No.567で「山岳スケッチ」を指導したのが最初である。そこでは、フェルト・ペンによるスケッチ技法を詳述している。これまでフェルト



第51図

ト・ペンを使用する画家は、坂本直行、山川勇一郎、熊谷樞など、たくさん居るが、いずれもそれはラフな線描だった。しかし、山里寿男のフェルト・ペン描きは、第51図「滝谷」のように、かなり細部まで描きこむ技法で、これは誰にも真似でき

ない技である。これを皮切りに「山の描き方入門書」を実にたくさん著している。

第52図は『登山者のためのスケッチ入門』(山と溪谷社 1968)の表紙で、「グリンデルワルトからのヴェッターホルン」が描かれている。山里寿男の「山の描き方」入門書は、図例に挙げられている絵がすばらしく、単なる入門書の

域を超えて、立派な“画集”になっている。

山里寿男の数多い山の描き方入門書、画文集を紹介しておく。『画文集ヒマラヤ』（東京新聞出版局1971）、『山のスケッチ手帳』（山と溪谷社1978）。『画文集道ひとすじ』（筑摩書房1989）、『スケッチの山旅12ヶ月』（実業之日本社1992）などがある。

#### (5) 牧 潤一(1928～)

山里寿男のつぎに「山の描き方入門書」の世界に登場したのが牧潤一である。

第54図は、『初心者のための淡彩・山の描き方』（日貿出版社1991）の表紙で、右から北鎌尾根、小槍と大槍、大食岳、中岳を描いている。

この絵をみても分かるように、彼の画は線描でくつき



第52図

りした輪郭をとらえ、それに鮮やかな彩色を施している。塗り絵の要領で、初心者には取っ付きやすい画風である。

牧潤一には『牧潤一山岳画集』（白樺高原美術館1990）、『8000m峰14座・絵葉書』を著しているが、これらは長野県に行かないと入手できない。（小憩）



第54図

#### ※編集注

本稿は、2016年11月9日に開催された水曜会講演の一部を収録したものです。多くの図版を示してお話ししていただきました。本稿では近年部分は割愛し、また例示図版の掲載についても著作権上の制約があるため論述上、不可欠なものに限定して収録しました。

## 山の本の出版に情熱を注がれた 中西健夫氏が亡くなられた

内田嘉弘

2017年2月13日に「北大路ギャラリー」でナカニシヤ出版会長中西健夫氏にお会いした折は「まだ、元気です」と会話を交わしましたが、その後、半年も経ずして8月17日に永眠されました。享年80歳であった。

生前、氏は「なぜ、山の本を作っておられるのですか」と聞かれると、「そこに山と本があるからです」とエヴェレストに消えたマロリーのような答え方をして煙にまくことにしているとおっしゃっておられた。つきつめるとそのようになるんだと……。

山登りは、20歳の頃から始められた。より高く、より難しい山を目指されたが、30歳を超えると周囲の景色が見えるようになり、挑戦するより自然に溶け入る樹林の山々を好むようになられた。それに単独行がお好きで誰かまうことなく自由に山や美しい樹林と対話をされた。特に芦生の原生林、奥美濃の樹林の山々をこよなく愛しておられた。これは森本次男著『樹林の山旅』（朋文堂

昭和15刊）の影響も大きかったようです。また、還暦を迎えられる頃から毎年夏の2週間ほど、ヨーロッパアルプスへ、ほとんど単独で10年以上通っておられた。鉄

道ファンでスイスの山岳鉄道をよく乗られたようだ。

最初の山の本の出版は、芦生の原生林に関西電力が揚水式ダム建設の話が持ち上がった折に、それに反対する意味も含めて芦生原生林を世間に知っていただくため渡邊弘之著『京都の秘境・芦生』（1970刊）を出された。この本は、取次店経由で一般書店に並んだ最初の本であった。それまで出版された本は京都大学教養部の憲法、法学、心理学等のテキスト類で、京都大学正門前のナカニシヤ書店で販売されていた。山の本の2冊目は『秘境・奥美濃の山旅』（1972刊）で執筆者4人の中の1人に中西健夫氏の名がある。筆者が初めてお会いしたのは拙書『山のスケッチ』（1989刊）の時、同年齢、同学年、山登りを始めたのも20歳で同じだったことから、友達的な親しさでその後お付き合いしていただき、以後『京都滋賀南部の山』（1992刊）等、京都府の山の本の出版へと繋がっていった。

マナスル初登頂で始まった登山ブームが下火になる頃、それまで山の本を出していた出版社は撤退していく中、氏は関西中心の山の本を出し続けられ、1998年にはヒマラヤの初登頂の記録—『ミニヤコンガ初登頂』、『ヒドンピーク初登頂』も手掛けられナカニシヤ出版の名は全国区になった。その後、お会いする度に『日本山嶽志』（高頭式編纂）の新版を手掛けたいと話しておられた。そ



の件は、日本山岳会を動かし、各支部の協力で『新日本山岳誌』が完成した。また、一番大きな本は2001年に出された宮森常雄著『カラコルム・ヒンズークシュ登山地図』と宮森常雄・雁部貞夫著『カラコルム・ヒンズークシュ登山研究』で、この2冊を縦38cm、横23cm、幅8cmのケースに入りであった。このカラコルム、ヒンズークシュの地図を広げて繋ぎ合わせると左右4mに及んだ。なお、この本は秩父宮山岳賞に輝いた。

2010年秋にお会いした折、体調の異変のことを話され、最後の仕事として『近畿山岳体系』（仮称）を纏めたいとのことで、京都府を私に担当してほしいとのことだった。この作業は一時停滞もあったが、『京都府山岳総覧』の名称で2016年秋に上梓できた。これが氏との最後のお付き合いであった。2017年に息子さんに社長職を任され、会長職に付かれたロマンチスト中西健夫氏は還らぬ人となった。残念でならない。 (2017年10月20日受)





## 重複図書頒布の報告

図書委員会

支部ルームの図書整理にあわせて重複図書(支部報No.170付頒布リスト)を支部会員に頒布しました。

短い応募期間にもかかわらず16名ものお申込みを受け、重複申込みについては厳正な抽選により当選者を決定し、1月中に頒布作業を完了しました。

- ・ 出品点数 126点(156冊)
  - ・ 頒布点数 69点(81冊)
  - ・ 頒布収入計 16,035円
- 以上

## Room日録 2017・2018年

|                 |                |                   |
|-----------------|----------------|-------------------|
| 11月1日(水)支部報編集作業 | 12月13日(水)支部報発送 | 1月10日(水)登山教室ブログ作業 |
| 16日(木)役員会       | 13日(水)総務委員会    | 15日(月)補助金打合せ      |
| 21日(火)登山教室打合せ   | 20日(水)財務委員会    | 16日(火)支部事務業務      |
| 22日(水)支部事務業務    | 21日(木)図書頒布抽選   | 18日(木)役員会         |
| 27日(月)図書整理      | 役員会            | 21日(日)図書委員会       |
| 登山教室打合せ         | 22日(金)支部事務業務   | 22日(月)関西登山史研究会    |
| 広報委員会           | 26日(火)三役会議     | 25日(木)頒布図書発送      |
| 関西登山史研究会        | 28日(木)財務委員会    | 会計事務打合せ           |
| 29日(水)財務委員会     | (2018年)        | 新入会員OR            |
| 30日(木)入会希望者面談   | 1月5日(金)自然保護委員会 | 31日(水)財務委員会       |
| 12月2日(土)支部事務業務  | 9日(火)支部事務業務    | 自然保護委員会           |

## 受贈一覧

(2017.11.1~2018.1.31受理分)

|  |                                 |                      |
|--|---------------------------------|----------------------|
| 越後山岳 第13号 越後支部創立70周年記念                 | 聞出版〔寄贈・中川委紀子氏〕                  | ・[東京]たま通信 第30号       |
| K峰殺人事件 生田直親著(カッパ・ノベルス)恒文社〔寄贈・嶋岡章氏〕     | 兵庫山岳 第605, 606, 607号 兵庫県山岳連盟    | ・越後支部報 第20号          |
| 神仏霊場ものがたり 神仏霊場会編 戒光祥出版〔寄贈・中川委紀子氏〕      | 歴史のなかの根来寺 山岸常人編 勉誠出版〔寄贈・中川委紀子氏〕 | ・[山梨]支部通信 第3期第3号     |
| 設立60周年記念誌(熊本支部報第40特別号)                 | 日本山岳会支部報                        | ・[静岡]不盡 第82号         |
| 登山月報 第584, 585, 586号 日本山岳・スポーツクライミング協会 | ・宮城山岳通信 第10, 11号                | ・東海支部報 No.151, 152   |
| 根来寺を解く 中川委紀子著 朝日新                      | ・秋田山岳 No.105                    | ・[京都・滋賀]支部だより No.129 |
|  | ・[山形]やま No.14                   | ・JAC北九だより 第83号       |
|  | ・群馬支部報 第7号                      | ・東九州支部報 第79号         |
|  | ・埼玉支部報 第22号                     | ・宮崎支部報 第61, 62, 63号  |
|  | ・千葉支部だより 第41号                   |                      |

※発行者による寄贈の場合、寄贈者名表示を省略

## スケッチ同好会 例会のご案内と報告

### 第23回 【案 内】

日 時 平成30年5月9日(水)～12日(土)  
 集 合 未定  
 行 先 比婆道後帝釈国定公園  
 交 通 高速バスまたはマイカー  
 (宿舎指定地より送迎あり)  
 費 用 約32,000円  
 (休暇村吾妻山ロッジ宿泊費・交通費等)  
 申 込 平成30年4月12日迄 久保和恵  
 E-mail:uncletorys05-kazu@nifty.com  
 電 話 079-565-0530 / 090-2598-9226  
 備 考 詳細は後日、申込者に連絡

### 第3回グループ展開催

会 期 平成30年6月25日(月)～29日(金)  
 9:30～17:30  
 (初日13時から、最終日16時まで)  
 会 場 大阪市立総合生涯学習センター・ギャラリー B  
 (大阪駅前第2ビル5階 ☎06-6345-5000)

### 【報 告】 第20回日吉神社界限

日 時 平成29年11月13日(月)



カツラの木に魅せられて 画：松上美代子

【参加者】 浅田博三 岩崎しのぶ  
 浦上芳啓 岡田輝子 金井良碩 久保和恵 嶋岡章  
 野村哲夫 播戸日出生 松上美代子  
 森沢義信 (信濃) 大塚和子  
 計12名

### 【報 告】 第21回 関西大学高槻キャンパス

日 時 平成30年1月22日(月)

【参加者】 浅田博三 岩崎しのぶ 浦上芳啓 岡田輝子 金井良碩 久保和恵 河野直子  
 薦田佳一 野村哲夫 播戸日出生 松上美代子 森沢義信 横山規江 計13名



関大高槻キャンパス学食からの展望 画：浦上芳啓

## 2018年4月～6月 支部山行計画

※申込みは、最後尾の宛先に行ってください【いずれも締切厳守】

### 18-1 六甲山を歩く

「修法ヶ原から森林植物園」

日 時：4月4日(水)

集 合：JR元町駅西改札出口 8時30分

コース：JR元町駅～諏訪山公園～大龍寺～修法ヶ原  
 ～森林植物園～山田道～谷上駅

地 図：2.5万分の1「神戸主部」「有馬」

担当CL：前田正彰

備 考：歩行距離約10km 約5時間

申込み：3月31日(土)迄(担当：黒田記代)

### 18-2 ゆるやか山行 東海自然歩道を歩く8

「比叡山コース」

日 時：4月19日(木)

集 合：大原バス停 10時

コース：大原BS～三千院～仰木峠～横川中堂～釈迦堂～延暦寺バスセンター



地 図：2万5千分の1「大原」「京都東北部」

備 考：歩行距離約9km 約4時間

申込み：4月9日(月)迄(担当：久保和恵)

### 18-3 関西支部県境縦走

日 時：4月21日(土)・22日(日)

コース：前月の進歩状況によりコースが決まります

備 考：詳しくは担当者に問い合わせてください

申込み：4月14日(土)迄(担当：黒田記代)

### 18-4 4000山グランプリ

「水葉山891m・拳原山946m」

日 時：4月28日(土)～30日(月・祝)

コース：金沢駅＝犀川ダム～拳原山～水葉山～熊走＝  
金沢駅

地 図：2万5千分の1「鶴来」

備 考：詳しくは担当者に問い合わせてください

難易度の高い山 テント山行 一般参加可  
山岳保険加入が必須

申込み：4月21日(土)迄(担当：重廣恒夫)

### 18-5 しっかり歩こう

「花折峠からナツチョ・天ヶ岳・シャクナゲ尾根」

日 時：5月12日(土)

集 合：JR堅田駅前 8時50分発細川行 バス乗車

コース：花折峠口BS～花折峠～ナツチョ～百井峠～  
天ヶ岳～シャクナゲ尾根～小出石BS

地 図：2万5千分の1「花背」「大原」

備 考：地図を見ながら約20km歩く

少雨決行 地図・コンパス必携

申込み：5月2日(水)迄(担当：山内幸子)

### 18-6 関西支部県境縦走

日 時：5月19日(土)・20日(日)

コース：前月の進歩状況によりコースが決まります

備 考：詳しくは担当者に問い合わせてください

申込み：5月12日(土)迄(担当：黒田記代)

### 18-7 ゆるやか山行 東海自然歩道を歩く9

「近江路コース」

日 時：5月24日(木)

集 合：比叡山延暦寺バスセンター 10時

コース：延暦寺バスセンター～根本中堂～夢見が丘～  
近江神宮～皇子が丘公園～三井寺～三井寺駅

地 図：2万5千分の1「京都東北部」

備 考：歩行距離約10km 約5時間

申込み：5月14日(月)迄(担当：久保和恵)

### 18-8 4000山グランプリ

「天狗森1296m・亀谷山1083m」

日 時：5月26日(土)・27日(日)

地 図：2万5千分の1「土佐魚梁瀬」「久尾」

備 考：詳しくは担当者に問い合わせてください

難易度の高い山 テント山行 一般参加可  
山岳保険加入が必須

申込み：5月19日(土)迄(担当：重廣恒夫)

### 18-9 比良山系を歩く

「釣瓶岳 1098m」

日 時：5月27日(日)

集 合：JR近江高島駅前 9時1分発畑行 バス乗車

コース：畑BS～ヨコタ峠～地蔵山～イクワタ峠～釣  
瓶岳～広谷～八淵の滝～黒谷口BS

地 図：2万5千分の1「北小松」「比良山」

備 考：歩行距離約12km 約6時間半

申込み：5月18日(金)迄(担当：久保和恵)

### 18-10 しっかり歩こう

「湖南アルプス 笹間ヶ岳から矢筈ヶ岳・太神山」

日 時：6月3日(日)

集 合：JR石山駅 8時15分(大阪発 7:30新快速乗車)

コース：上関～笹間ヶ岳～矢筈ヶ岳～太神山～アルプ  
ス登山口

地 図：2万5千分の1「瀬田」「朝宮」

備 考：地図を見ながら長距離を歩く山行  
出来れば堂山まで歩きたい！

少雨決行 地図・コンパス必携

申込み：5月24日(日)迄(担当：山内幸子)

### 18-11 4000山グランプリ

「赤堂山1059m・多子津山1311m」

日 時：6月15日(金)～17日(日)

コース：金沢駅＝刀利ダム～赤堂山～月ヶ原山～多子  
津山～刀利ダム＝金沢駅

地 図：2万5千分の1「湯涌」「西赤尾」

備 考：詳しくは担当者に問い合わせてください

難易度の高い山 テント山行 一般参加可  
山岳保険加入が必須

申込み：6月8日(金)迄(担当：重廣恒夫)

### 18-12 ゆるやか山行 東海自然歩道を歩く10

「音羽山コース」

日 時：6月21日(木)

集 合：京阪石山坂本線三井寺駅改札口前 9時30分

コース：三井寺駅～長等公園～逢坂歩道橋～音羽山～  
千頭岳との鞍部～国分～石山寺

地 図：2万5千分の1「京都東北部」「京都東南部」  
「瀬田」

# 登山計画書

下欄ファイル名は記入不要

\*作成日 年 月 日

|        |                   |      |
|--------|-------------------|------|
| ファイル名: | * 年 月 日 ~ * 年 月 日 | *作成者 |
|--------|-------------------|------|

|        |                                       |     |        |
|--------|---------------------------------------|-----|--------|
| *主催者   | 関西支部 他支部( ) 他の山岳会( ) 個人 いずれかに○をしてください |     |        |
| *留守本部① | (緊急連絡先)                               | *氏名 | *電話    |
|        |                                       |     | e-mail |
| 留守本部②  |                                       | 氏名  | 電話     |
|        |                                       |     | e-mail |

|                             |                                  |                      |
|-----------------------------|----------------------------------|----------------------|
| *山城及山名                      | *山行形態<br><small>(いずれかに○)</small> | 縦走、岩登り、沢登り、雪山、その他( ) |
| *日程 コース (書ききれない場合は、別紙添付のこと) |                                  |                      |
|                             |                                  |                      |
| *最終下山日時(スベアの日程を含めたもの)       |                                  |                      |

|                 |    |  |     |  |
|-----------------|----|--|-----|--|
| 現地連絡先<br>(宿泊先等) | 名称 |  | 電話  |  |
|                 | 住所 |  | FAX |  |

|                |  |     |  |     |  |
|----------------|--|-----|--|-----|--|
| *リーダー氏名        |  | *電話 |  | *住所 |  |
| メンバー人数(リーダー含む) |  | 計 名 |  |     |  |

|                         |                                     |  |  |   |  |
|-------------------------|-------------------------------------|--|--|---|--|
| 計画書の提出先                 | ・各自の留守宅 ・留守本部①と② ・所轄の警察署(登山口またはweb) |  |  |   |  |
| 登山地域の<br>県警察本部地域課       | 名称                                  |  |  |   |  |
|                         | 電話                                  |  |  |   |  |
| 交通手段が車の場合: 車両No. 持主名/色  | ①                                   |  |  | ② |  |
| チャーターの場合: バス会社、タクシー会社など |                                     |  |  |   |  |

|                |
|----------------|
| <b>装備、食料概略</b> |
|                |

|             |
|-------------|
| <b>特記事項</b> |
|             |

※本計画書は日本山岳会関西支部に提出するフォームです。**\*太字箇所が必須**、細字箇所が任意項目(可能な限り記入)です。  
 ※提出の必要な山行: 宿泊を伴う山行(前夜泊舎)。岩、沢、雪山などバリエーションは日帰りも。  
 他組織、団体、ガイドなどの主催者により登山計画書と参加者名簿が適切に作成されている場合は提出不要です。  
 ※提出先①メール: keikakukansai@yahoo.co.jp ②FAX: 0742-48-5946 黒田記代 ③郵送: 〒630-8034 奈良県奈良市五条西1-29-4

| メンバー表 |              |      |    |      |              |        |                      |              |
|-------|--------------|------|----|------|--------------|--------|----------------------|--------------|
| 1     | 役割           | 会員番号 | 性別 | 生年月日 | 住 所 / e-mail |        | 緊急連絡先<br>氏名(続柄)/電話番号 | 山岳保険<br>加入有無 |
|       | 氏名(上カカナ/下漢字) |      |    | 年齢   | 自宅電話番号       | 携帯電話番号 |                      |              |
| 1     |              |      |    |      | (自宅)         | (携帯)   | (電話)                 |              |
| 2     |              |      |    |      | (自宅)         | (携帯)   | (電話)                 |              |
| 3     |              |      |    |      | (自宅)         | (携帯)   | (電話)                 |              |
| 4     |              |      |    |      | (自宅)         | (携帯)   | (電話)                 |              |
| 5     |              |      |    |      | (自宅)         | (携帯)   | (電話)                 |              |
| 6     |              |      |    |      | (自宅)         | (携帯)   | (電話)                 |              |
| 7     |              |      |    |      | (自宅)         | (携帯)   | (電話)                 |              |
| 8     |              |      |    |      | (自宅)         | (携帯)   | (電話)                 |              |

備考：歩行距離約15km 約4時間半  
 申込み：6月11日(月)迄(担当：久保和恵)

**ステップアップ登山教室 一般対象 募集中**

**1stステップ**

初級『地図とコンパスの使い方の習熟』

- 4月5日(木) 安全・快適トレッキング(座学)
- 5月12日(土) カラト谷～金剛山頂
- 6月10日(日) ぬかた園地～生駒山～なるかわ園地
- 7月7日(土) 滝畑四十八滝～槇尾山

中級『六甲・沢歩き』

- 4月5日(木) 安全・快適登山術(座学)
- 5月8日(火) 摩耶東谷～摩耶山～山羊戸渡
- 6月12日(火) 赤子谷～岩原山～ナガモッコク尾根

- 7月10日(火) 逢山峡～長尾谷～猪ノ鼻滝
- 上級『岩登り・沢の初歩・雪山の初歩』
- 4月5日(木) 安全・快適登山術・岩登りの基礎知識(座学)
- 5月24日(木) 蓬莱峡周辺
- 6月28日(木) 百丈岩周辺
- 7月26日(木) 不動岩周辺

**「六甲全縦」トレーニング山行**

9月から10月に6回の予定 詳細は次号掲載  
 第1回 有馬から宝塚 第4回 須磨浦公園から鶴越  
 第2回 布引から有馬 第5回 ハーフ全縦(前半)  
 第3回 鶴越から摩耶山 第6回 ハーフ全縦(後半)  
 (担当：前田正彰)

**2018年 4月～6月 自然保護行事案内**

**1 日本山岳会関西支部本山寺山の森(本山寺山森林づくりの会活動)**

- 活動日：4月5日(木)・4月15日(日)
- 5月3日(木・祝)・5月20日(日)
- 6月7日(木)・6月17日(日)

天然林常緑樹除伐整備・人工林林床整備・歩道保全整備  
 ※体験作業参加・本山寺山森林づくりの会入会 歓迎

**2 東お多福山ススキ草原復元活動**

- 活動日：3月24日(土)・4月7日(土) 早春の全面刈り
- 5月23日(水) 春の植生調査・登山道保全整備

**3 自然観察会・森林観察会**

- ・6月11日(月) ヤシオツツジ観察会 大台ヶ原

- 詳細は参加希望者に別途連絡
- ・本山寺山・東お多福山の活動日に観察会随時受け入れ
- 4 自然保護全国集会**
- ・7月7日(土)～8日(日)石川県能美市辰口町
- 詳細は参加希望者に別途連絡

**問い合わせ・申込み先**

斧田一陽 TEL&FAX072-633-6556/携帯 090-4037-4542  
 ※締め切り：開催日の一週間前まで  
 ※集合：本山寺山の森：JR高槻駅北口アルプラザ前  
 東お多福山：阪急芦屋川駅改札口北側広場  
 いずれも午前8時50分

**〈編集後記〉**

☆ピオンチャン冬季オリンピックは華やかな閉幕だった。7競技102種目、こんなに種目があったのかと驚いた。スポーツ観戦ではなく、ショーを見ているような種目も多くあって楽しませてもらったが、私はやはりオーソドックスなスキー競技のアルペンがいい。  
 ☆久々に関西支部のスキー山行が2月に再開され、9名ものスキーヤーが揃った。来シーズンは山スキーの復活と若手メンバーの参加に期待したい。

(久保)

発行日 2018(平成30)年3月10日  
 発行所 〒530-0015 大阪市北区中崎西1-4-22 梅田東ビル3階 304号室  
 公益社団法人 日本山岳会関西支部  
 e-mail: kansai.jac@canvas.ocn.ne.jp  
 郵便振替口座 00930-6-55950  
 発行者 金井良碩  
 編集 加藤芳樹 久保和恵 野口恒雄  
 制作 株式会社 双陽社 大阪市北区堂島2-2-28



アルパインクライミングの本場、フランスの“ブルーアイス”より2018年新商品が登場!!

軽くて頑丈!  
クライミングに最適!



全サイズにヘルメットホルダーを標準装備!



32Lは背面から荷室へアクセスが可能!



**2018NEW スクアロウパック (税別)**

12L: ¥6,800 (365g)、22L: ¥9,800 (500g)、32L: ¥13,800 (670g)

お問い合わせ先: (株)ケンコー社 TEL:06-6374-2788



【山旅専門の旅行会社】アルパインツアーからのご案内

ツール・ド・モンブラントレッキング 10日間

|                |            |
|----------------|------------|
| 出発日～帰着日        | 旅行代金(大阪発着) |
| 7/27(金)～8/5(日) | ¥528,000   |

【大阪発着企画】

6つの峠を越えて、7つの谷を結び、フランス、イタリア、スイスの3カ国をめぐる、変化に富んだ山岳コースを山小屋泊で、荷物の回送サービスを利用しながら縦走します。迫力の氷河、お花畑、間近に迫る雄大な名峰の変化に富む景観を連日お楽しみください。



▲モンブランの雄姿を3カ国周遊トレッキングで楽しむ

パプアニューギニア最高峰  
ウィルヘルム山登頂とゴロカの休日 8日間

|                |            |
|----------------|------------|
| 出発日～帰着日        | 旅行代金(東京発着) |
| 4/28(土)～5/5(土) | ¥438,000   |

【ご参加者1名様に対し  
1名の現地ガイドが同行】

民族豊かなゴロカを起点に、2泊3日の行程でパプアニューギニア最高峰を目指します。登り応えのある高峰ゆえに登頂の達成感はひとしおです。心優しくも頼もしい地元の人々との交流も楽しみです。



▲南太平洋の名峰、ウィルヘルム山(4,508m)山頂直下にて



観光庁長官登録旅行業第490号(第1種)/一般社団法人日本旅行業協会 正会員 ⑤ ボンド保証会員

アルパインツアーサービス株式会社

大阪 06-6444-3033  
〒550-0003 大阪市西区京町堀1-4-3 (TCF肥後橋ビル2階)

〒6068161  
京都市左京区二乗寺木ノ本町15

ナカニシヤ出版

TEL 0757230111  
FAX 0757230095

表示は本体価格です。



雪山を愉しむ

スキーやスノーシュー・ワカンでの雪山登山の魅力写真と地図で紹介。コース概要・コースタイム・アプローチ・アドバイスを加えた、愉しき雪山登山の実践的ガイド。

草川啓三 著  
A5判 144頁  
カラー写真・地図多数  
1,800円



京都府山岳総覧

京都府の339の山を实地踏査して、登路を含めて解説。主な山には概念図・写真を加えた、京都の山の最も詳しい案内書。カラー口絵写真、標高100m以上全三角点を掲載。

内田嘉弘・竹内康之 編著  
A5判 272頁  
口絵カラーほか写真・地図多数  
2,200円



大阪の山歩き100

大阪の山々はそれぞれに歴史があり、個性に富んでいる。バスや電車を利用して家族づれで登れるコースばかり、一〇〇山、一〇〇コースを選んだウォーキングガイド。

清水 満著  
A5判 184頁  
オールカラー  
写真・地図多数  
1,800円



山の本をつくる

「山が好き、本が好き」で50年、京都北山からヒマラヤ、アルプスまで、百冊以上の山書を出版した著者が、山の本へのこだわりと山を書く人たちの交流をふりかえる。

小社会長 中西健夫(8月17日没) 著  
A5判 288頁  
2,800円

山岳雑誌 岳人

山と人、時代をつなぐ山岳雑誌「岳人」

4月号  
発売中

【特集】山と桜

★モンベルのウェブサイト、全国のモンベルストアや書店にて発売中!

毎月15日発売 価格815円(+税)

▶ 年間購読がおすすぬ 購読割引 送料無料 限定品プレゼント

通常価格 12冊 9,780円(+税) → 年間購読 12冊 8,965円(+税) 1年間で、1冊分 815円おトク!



年間購読のお申し込み WEB <http://www.gakujin.jp/> モンベルストアでも受付中

お問い合わせ

モンベル  
ポスト

0120-982-682 / TEL 06-6538-5797

※フリーコールは携帯・IP電話からはご利用いただけません。